

太郎の手紙

父ちゃん、母ちゃんへ

ほくは毎日、中学校でいろいろな勉強をやっている。きょうは国語で「論語」の読み方を練習した。意味がわからなかったよ。数学では「一次関数」をやった。ぜんぜんわからなかったから、あてられないようにずっと下をわいていたよ。

勉強なんかやっているより、テレビのお笑いをみているほうがよっぽど楽しいよ。ほくにもいちおう夢があって、将来はお笑い芸人になろうと思っているんだ。むずかしい勉強なんてやらなくて、お笑い芸人になら、なれるよね。

ほくは、小学一年のときから今まで、勉強していて楽しいと思ったことなんか一度もない。父ちゃん、母ちゃんは勉強が楽しいと思ったことはある？ ちゃんとした会社に入ってがんばっている父ちゃん、母ちゃんは子どものころ、きつとこんな悩みはもたなかっただろうね。将来はお笑い芸人になるほくに、むずかしい勉強をやる意味を父ちゃん、母ちゃんおしえてよ。

十一月二十四日

太郎より

「太郎の手紙」の実践を通して

日向市立富島中学校

教諭 春田 一樹

「夢への道」とスローガンを設定して本年度をスタートした。学年の目玉となった企画「太郎の手紙」は水永センター長の一言から始まった。

「春田先生、おもしろい資料があるんですよ。」

1 1月の終り頃だったと思うが、第2学年のよのなか教室に関する打ち合わせを水永センター長と行った時のことである。目標や夢をもっていない生徒が大勢いる中、どうすれば目標をもったり、学習する意義を考えたりできるのかが議論の中心だった。

自分が中学生だった時を考えてみると、「本音と建前」が入り乱れて、思っている行動につながらない、拳句の果てには親に反抗する始末……。そんなアンバランスな時期の生徒の頭の中を整理整頓すればいいのではないかと思った。

そこで、以下のような手順で実践を行ってみた。

- | |
|--|
| 1、太郎の手紙で自分の中の「本音と建前」を文字にして、今の自分を見つめる。 |
| 2、保護者も「太郎の手紙」を書く。※太郎＝我が子として書いていただくように依頼する。 |
| 3、保護者の手紙を見て、もう一度生徒は「太郎の手紙」を書く。 |
| 4、再考した手紙の発表会を参観日の日に全学級で行う。 |

この取組で見えてきた成果は以下のとおりである。

生徒	「芸人」になるから「勉強をしなくてもよい」こんな太郎の意見に対して、生徒の多くは、非常に厳しい指摘やアドバイスを記述していることが多い。しかし、太郎と同じ思いを抱いたことがあるか？と聞くとこれもまた多くの生徒は「はい」と答えた。 理屈では分かるが、行動に移せていない自分に気付ける時間となった。
保護者	我が子に向けて、大人になってからの苦労した体験や後悔の念など切実な思いがヒシヒシと伝わる文章を書いていただけた。複数の保護者から、「当たり前のことだけど、どうやって伝えればよいか難しかった」「家族で将来のことを話す時間がとれて良かった」という意見をいただけた。 「勉強しなさい」だけでは伝わらない。「何のために？」「誰のために？」学ぶのか伝えなければならないことを知った。←生徒は親の思いを知ることができた。
教師	保護者の熱い思いを知って、学習態度や学校生活の行動が大きく変化した生徒を目の当たりにした。保護者は思いはあっても、普段の生活に追われ、将来について家族で話す時間がとれないのではないかと思います。太郎の手紙を行う意味には大きなものがある。

また課題については、は以下のとおりである。

- ① 準備や計画に大きな労力が必要で、実施する学年職員の理解と納得がないと効果は上がらない。
- ② 保護者の協力を得やすい長期休暇前に依頼すると100%の回収率に近づく。今回は保護者の書いた手紙の回収率は95%以上だったが、全員回収とはいかなかった。

今回の取組は、今後キャリア教育を理解・推進していくための大きな手掛かりをつかむ実践となったのは間違いない。

平成28年 12月22日

第2学年保護者 各位

日向市立富島中学校
第2学年主任 竹内 友子
キャリア教育担当 春田 一樹

よのなか教室で使用する感想文について（依頼）

師走の候、保護者の皆様におかれましては、益々御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、いよいよ冬休みを迎え、年が明けると受験生として大事な一年となります。昨年度同様、キャリア教育の充実を図るために、よのなか教室を計画しております。3学期には、「太郎の手紙」〈別紙参照〉という題材で進路意識や学習意欲などを高める学習を行う予定です。

そこで、下記の計画の通り、参観日での学習につながるものとなりますので、保護者の皆様にも、この「太郎の手紙」を読んでいただき、考えや想いを書いていただきたいと思います。生徒は、先日の授業で感想を書いております。

生徒にとって、有意義な活動となるようにしたいと思いますので、保護者の皆さまには、御理解と御協力をお願いします。

必要となる資料や用紙は、同封させていただきます。

記

- 1 目的 ○ 将来の見通しをもたせ、学習に対する意識を高める。
○ 生徒・保護者が、同じ内容の題材に取り組むことで、家庭での進路に対する目的意識・学習意欲の高まりにつなげる。

2 計画

平成28年度 よのなか教室 テーマ【夢への道】		
第1回	よのなか教室	よのなか先生3名
第2回	保護者向けよのなか教室	水永正憲氏
職場体験学習2日間		
第3回	よのなか教室(参観日)全学級	各学級担任
第4回	高校よのなか教室	高校の教職員、生徒

- 3 期限 平成29年1月5日（木）
※ 生徒を通じて、学級担任へ提出ください。

- 4 対象者 第2学年 保護者

5 その他

- ※ 太郎の手紙を読んでいただく際、「太郎＝我が子」と想定して御記入ください。
- ※ 保護者に書いていただいた感想用紙は生徒が読み、自分の書いた感想文を再考します。
- ※ 3学期の参観日では、再考した感想文の発表会を行います。

参観授業の指導案の基本形(案)

マイナーチェンジや学級の実態に合わせていただくことは大いに結構です！！

本時の目標(生徒)

- 他者の意見を聞き、学ぶ意義について考えることができる。

本時の目的(保護者)

- キャリア教育への関心を高め、保護者の積極的な授業参加を促し、将来について親子で話すきっかけとなる場を提供する。

本時へのチャレンジ(学校)

- 各学級で世のなか教室を「参観日」に行うということ。
- 保護者にも生徒同様、太郎の手紙を書いてもらえるようにアクションを起こしたこと。

	学習活動	指導上の留意点	備考・準備物
導入 10分	1、太郎の手紙の概要について復習する。 2、本時の目的を知る。	○ 保護者にも、太郎の手紙を思い出してもらい、親子で授業に参加できる雰囲気を作る。 ○ 自信をもって発表ができるように生徒に伝える。	
今日の目標 他者の意見を聞き、自分の将来について考える時間にしよう！			
展開 30分	3、再考を行った太郎の手紙と、よのなか教室の感想も含めて班内発表会を行う。 発表→メモを全員行う	○ 大きな声で班のメンバーに聞こえるように発表させる。 ○ 保護者にも積極的に班の近くに行って、話を聞いてもらえるようにする。 ○ 他者の意見で気になるものがあれば、メモをさせる。	太郎への返信プリント よのなか教室の感想
終末 10分	4、他者の意見を聞いて、感じたことや気づいたことをまとめる。 5、教師の話を聞く。 ①今年のよのなか教室について ②自分の学生時代のこと ③なぜ学ぶのか？ など	○ 他者の意見から学べたことをまとめるための時間を十分に確保する。 ○ 来年度、受験生であるという自覚と責任が感じられるような説話になるようにする。	感想用紙

本時の評価

- 他者の意見を聞き、学ぶ意義について考えることができたか。「感想用紙」

よのなか教室ワークシート

2年 組 番 名前

太郎くんの手紙を読んで、あなたの考えや想いを返信しましょう。答えはありません。あなたの想いを太郎くん書いてあげてください。

[illegible]

あなたは太郎くんのような気持ちを抱いたことがありますか？

1、はい 2、いいえ

1の人は抱いたことがある理由、2の人は抱いたことがない理由を書いてみましょう！

理由

よのなか教室ワークシート②（再考）

2年 組 番 名前

もう一度、太郎くんの手紙を読んで、あなたの想いを太郎くん書いてあげてください。

[illegible]

保護者からの手紙を読んで、共感したこと、意外だったことなどを書いてみよう！

[illegible]

よのなか教室ワークシート（保護者用）

2年 組 保護者名

太郎くんの手紙を読んで、太郎君を我が子と思い、その想いを書いてください。

自分が学生時代に、太郎くんのような気持ちを抱いたことがありますか？

1、はい 2、いいえ

1 の人は抱いたことがある理由、2 の人は抱いたことがない理由をお書きください。

理由